

反保島環境保全児童クラブ

高岡市中田の反保島地区では、5ヵ年計画で地域が一体となり、自然環境を守る取り組みを行っています。この日は小中学生も大人もいっしょになって、地元の川の生きものを採集。小学生は初めて見る魚にはしゃいだり、中学生は科学の視点で水環境と向き合ったり。そして大人は少年の日の川遊びの達人ぶりを発揮してちびっ子たちのヒーローになったり。ここにはつぎの世代へすばらしい環境をつなぐ、人と地域のやさしい眼ざしがありました。



反保島集落
環境保全推進協議会
代表 岡田義巳さん

私たちが子どもの頃、この辺りの川にはコイやフナ、ドジョウやナマズがたくさんいました。それがあたりまえの光景でした。生きものがすみやすい環境は、人間も暮らしやすい。そんなかけがえのない環境への思いをつぎの世代にも伝えていきたいですね。



上流とは違うかな？
下流の生きものや水質も調べました。

安川発電所は農業用水の落差を利用して電気をおこす、
環境にやさしい発電所です。

川にいた生きものの種類や大きさを調べよう！



シマドジョウが
いたよ！大きさを
測ってみよう！

川がキレイだから、
生きものがたくさん
いるんだね！



上流の庄川合口堰堤で「魚道」を見学。

データ収集を終えたら、
生きものたちは川へかえします。



水環境の保護を呼びかける看板を、子どもたちがつくりました。

生きものが棲みやすい環境は、人間だって暮らしやすい。